

1. 需給見通し

農林水産省は、「砂糖及びでん粉の価格調整に関する法律」（昭和40年法律第109号）により、四半期ごとに砂糖および異性化糖の需給見通しを公表している。令和2年12月に「令和2砂糖年度における砂糖及び異性化糖の需給見通し（第2回）」を公表した（詳細は2021年2月号参照）。

令和2砂糖年度（10月～翌9月）の見通し

【砂糖】

総消費量：179万5000トン（前回見通し同）

総供給量：182万5000トン（前回見通しから7000トン増）

【加糖調製品】

消費量および供給量：48万8000トン（同1万5000トン減）

【異性化糖】

消費量および供給量：82万9000トン（前回見通し同）

表1 令和2砂糖年度における砂糖の需給見通し

（単位：千トン）

		令和元砂糖年度 (実績)	令和2砂糖年度				合計	
			10月-12月 (実績見込み)	1月-3月 (見通し)	4月-6月 (見通し)	7月-9月 (見通し)		
消費量	分みつ糖	1,721	455.7	391.5	458.4	454.4	1,760	
	含みつ糖	35	6.8	11.5	9.4	6.9	35	
	合計	1,756	462.5	403.0	467.8	461.3	1,795	
供給量	国内産糖	分みつ糖	777	344.1	372.4	50.3	-	767
		含みつ糖	11	1.1	7.5	0.8	-	9
		小計	788	345.2	379.9	51.1	-	776
	輸入糖	分みつ糖	1,002	286.4	137.0	308.3	308.1	1,040
		含みつ糖	8	1.7	3.6	2.5	0.8	9
		小計	1,010	288.1	140.6	310.8	308.9	1,048
	合計	分みつ糖	1,779	630.5	509.4	358.6	308.1	1,807
		含みつ糖	19	2.8	11.1	3.3	0.8	18
		小計	1,797	633.3	520.5	361.9	308.9	1,825
期末在庫		374	516.2	633.7	527.8	375.4	375	

資料：農林水産省「令和2砂糖年度における砂糖及び異性化糖の需給見通し（第2回）」

注1：分みつ糖は精糖ベースの数量、含みつ糖は製品ベースの数量である。

注2：輸入糖の分みつ糖供給量は、機構売買数量である。

表2 令和2砂糖年度における加糖調製品の需給見通し

（単位：千トン）

	令和元砂糖年度 (実績)	令和2砂糖年度				合計
		10月-12月 (実績見込み)	1月-3月 (見通し)	4月-6月 (見通し)	7月-9月 (見通し)	
消費量	496	125.0	112.0	127.0	124.4	488
供給量	496	125.0	112.0	127.0	124.4	488

資料：農林水産省「令和2砂糖年度における砂糖及び異性化糖の需給見通し（第2回）」

注1：改正糖価調整法（2018年施行）に基づき調整金の対象とされた加糖調製品を対象としている。

注2：消費量は対象となる加糖調製品の輸入量（財務省貿易統計より算出）を踏まえて見通しており、供給量は消費量に見合った量が供給されるものとして見通している。

注3：令和2砂糖年度の消費量は、令和元砂糖年度の輸入実績を踏まえて見通している。

表3 令和2砂糖年度における異性化糖の需給見通し

(単位：千トン)

	令和元砂糖年度 (実績)	令和2砂糖年度				合計
		10月-12月 (実績見込み)	1月-3月 (見通し)	4月-6月 (見通し)	7月-9月 (見通し)	
消費量	785	167.6	174.6	251.8	235.5	829
供給量	785	167.6	174.6	251.8	235.5	829

資料：農林水産省「令和2砂糖年度における砂糖及び異性化糖の需給見通し（第2回）」

注：標準異性化糖（果糖55%ものの固形ベース）に換算した数量である。

2. 輸入動向

【粗糖の輸入動向】

1月の輸入量は前年同月から大幅に減少

財務省「貿易統計」によると、2021年1月の甘しや糖・分みつ糖（HSコード 1701.14-110）および甘しや糖・その他（同1701.14-200の豪州）の輸入量は、7506トン（前年同月比78.8%減、前月比94.5%減）であった（図1）。

輸入先国は豪州およびタイで、国別の輸入量は次の通りであった（図2）。

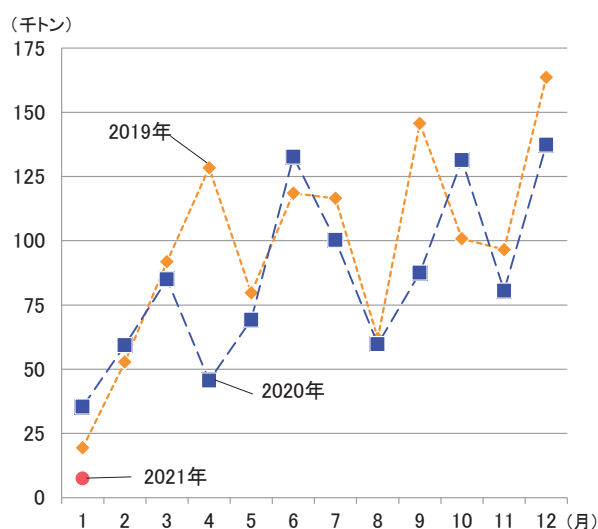
豪州 6506トン

（前年同月比81.4%減、前月比95.3%減）

タイ 1000トン

（同2.0倍、前月輸入実績なし）

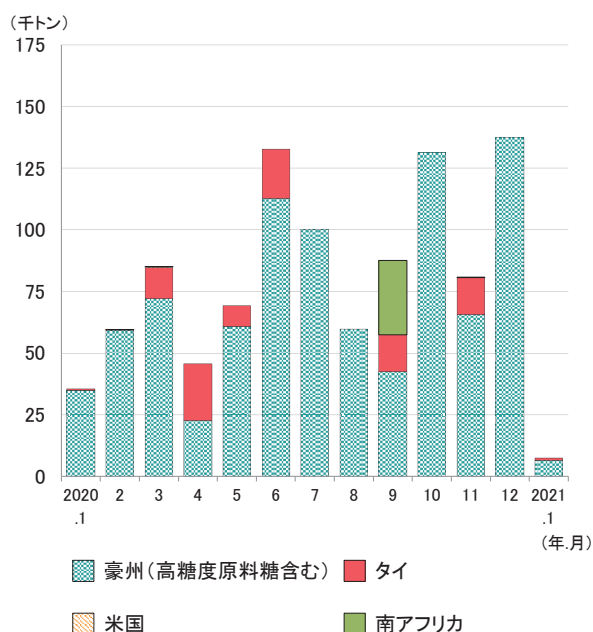
図1 粗糖の輸入量の推移



資料：財務省「貿易統計」

注：HSコード1701.14-110、1701.14-200（豪州のみ）

図2 粗糖の国別輸入量の推移



資料：財務省「貿易統計」

注：HSコード1701.14-110、1701.14-200（豪州のみ）

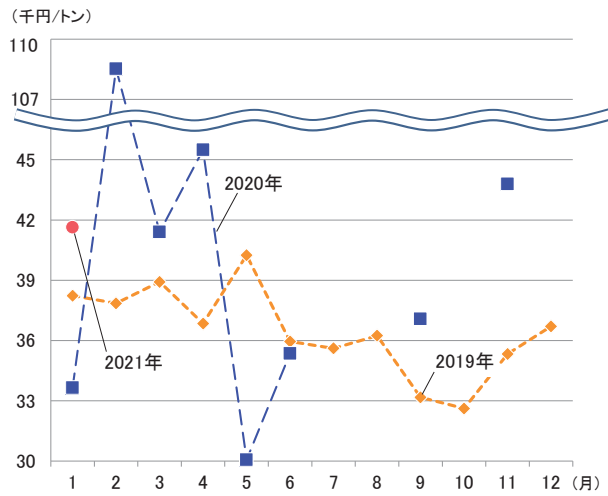
2021年1月の甘しや糖・分みつ糖の1トン当たりの輸入価格は、4万1637円（前年同月比23.7%高、前月輸入実績なし）であった（図3）。

タイ 4万1637円

（前年同月比23.7%高、前月輸入実績なし）

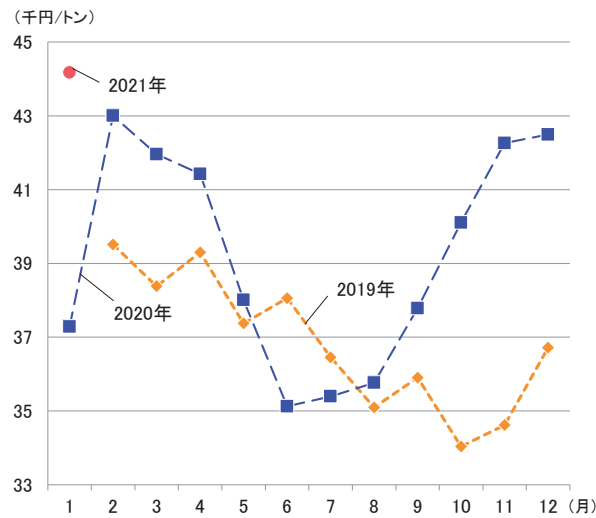
また、同月における甘しや糖・その他の豪州からの高糖度原料糖の1トン当たりの輸入価格は、4万4170円（前年同月比18.5%高、前月比3.9%高）であった（図4）。

図3 粗糖 (HSコード1701.14-110) の輸入価格の推移



資料：財務省「貿易統計」
注：2020年7月、8月、10月および12月は輸入実績なし。

図4 高糖度原料糖 (HSコード1701.14-200の豪州) の輸入価格の推移



資料：財務省「貿易統計」
注：2019年1月は輸入実績なし。

【含みつ糖の輸入動向】

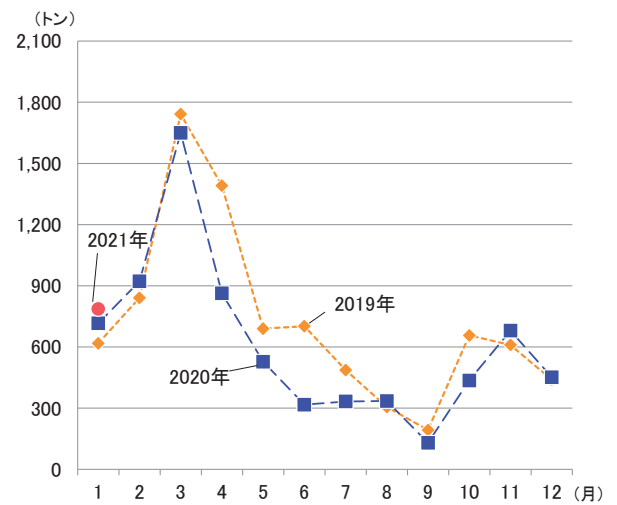
1月の輸入量は前年同月からかなりの程度増加

財務省「貿易統計」によると、2021年1月の含みつ糖 (HSコード 1701.13-000、1701.14-190) の輸入量は、787トン (前年同月比9.9%増、前月比74.1%増) であった (図5)。

輸入先国はタイ、中国、ポリビア、フィリピンの4カ国で、国別の輸入量は次の通りであった (図6)。

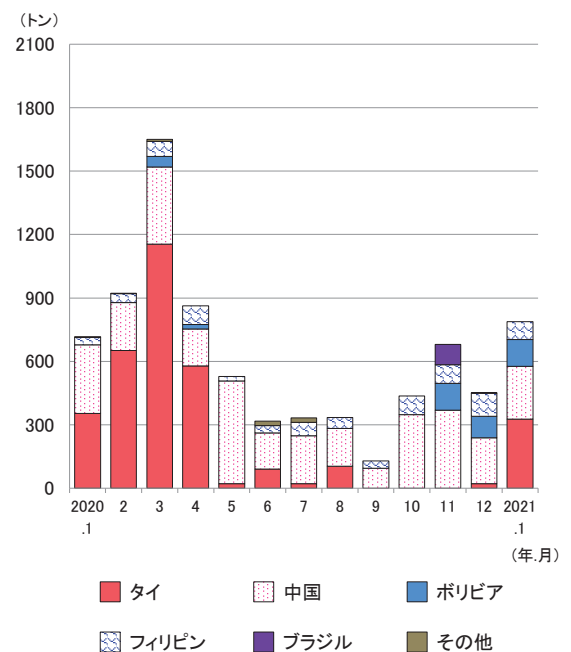
タイ	327トン
	(前年同月比7.6%減、前月比15.6倍)
中国	249トン
	(同23.1%減、同14.7%増)
ポリビア	127トン
	(前年同月輸入実績なし、同24.5%増)
フィリピン	84トン
	(前年同月比2.5倍、同22.9%減)

図5 含みつ糖の輸入量の推移



資料：財務省「貿易統計」
注：HSコード1701.13-000、1701.14-190

図6 含みつ糖の国別輸入量の推移



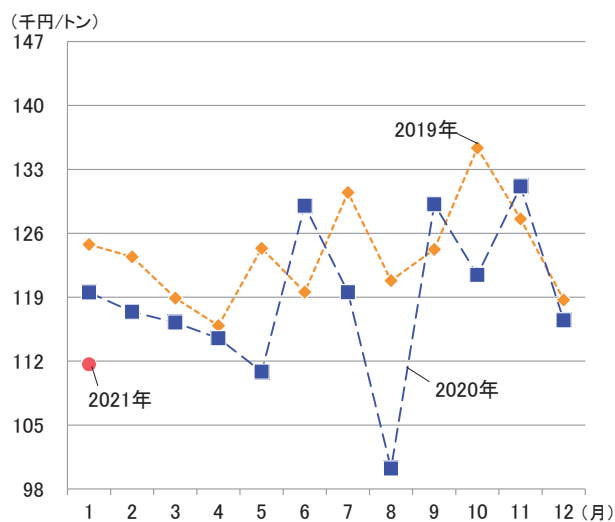
資料：財務省「貿易統計」
注：HSコード1701.13-000、1701.14-190

2021年1月の1トン当たりの輸入価格は、11万1642円（前年同月比6.6%安、前月比4.1%安）であった（図7）。

国別の1トン当たりの輸入価格は、次の通りであった。

タイ	10万9743円
	（前年同月比3.0%安、前月比23.0%高）
中国	11万735円
	（同8.4%安、同0.4%高）
ボリビア	12万4654円
	（前年同月輸入実績なし、同0.7%安）
フィリピン	10万2048円
	（前年同月比28.1%安、同18.9%安）

図7 含みつ糖の輸入価格の推移



資料：財務省「貿易統計」
注：HSコード1701.13-000、1701.14-190

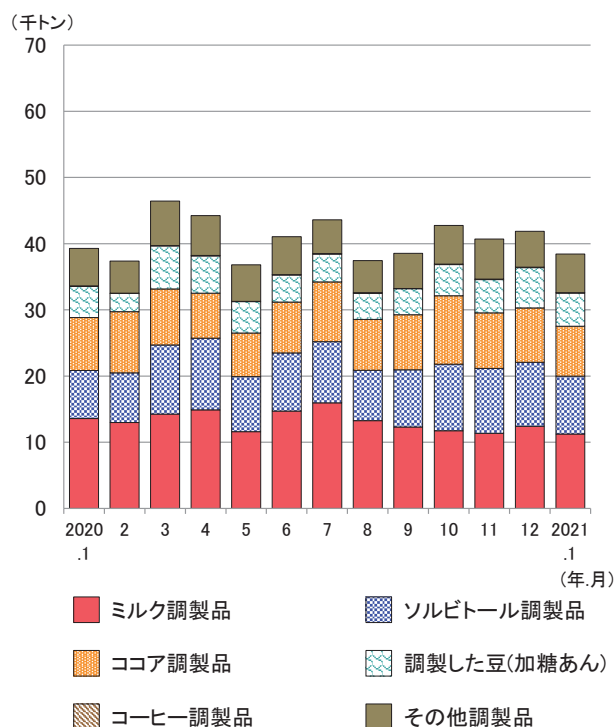
【加糖調製品の輸入動向】

1月の加糖調製品の輸入量は前年同月からわずかに減少

財務省「貿易統計」によると、2021年1月の加糖調製品の輸入量は、3万8440トン（前年同月比2.2%減、前月比8.2%減）であった（図8）。

品目別の輸入量は、表4の通りであった。

図8 加糖調製品の品目別輸入数量の推移



資料：財務省「貿易統計」
注：各品目のHSコードは、次の通り。
ココア調製品：1806.10-110、1806.10-190、1806.20-112、1806.20-113、1806.20-121、1806.20-129、1806.32-212、1806.32-213、1806.90-212、1806.90-213
コーヒー調製品：2101.11-110、2101.11-190、2101.12-111、2101.12-112、2101.12-246
調製した豆（加糖あん）：2005.40-191、2005.40-199、2005.51-191、2005.51-199
ミルク調製品：1901.90-219、2106.90-283、2106.90-284
ソルビトール調製品：2106.90-510
その他調製品：2008.99.218、2106.90-590、2101.20-246、2106.90-252、2106.90-253、2106.90-281、2106.90-282、2106.10-219

表4 加糖調製品 品目別輸入量（1月）

（単位：トン）

区分	輸入量	前年同月比 (増減比)	前月比 (増減比)
ミルク調製品	11,242	▲ 17.2%	▲ 9.4%
ソルビトール調製品	8,735	20.3%	▲ 9.5%
ココア調製品	7,536	▲ 5.6%	▲ 8.4%
調製した豆(加糖あん)	5,030	6.0%	▲ 17.5%
コーヒー調製品	60	2.1倍	▲ 14.9%
その他調製品	5,836	2.8%	7.7%
合計	38,440	▲ 2.2%	▲ 8.2%

資料：財務省「貿易統計」

3. 異性化糖の移出動向

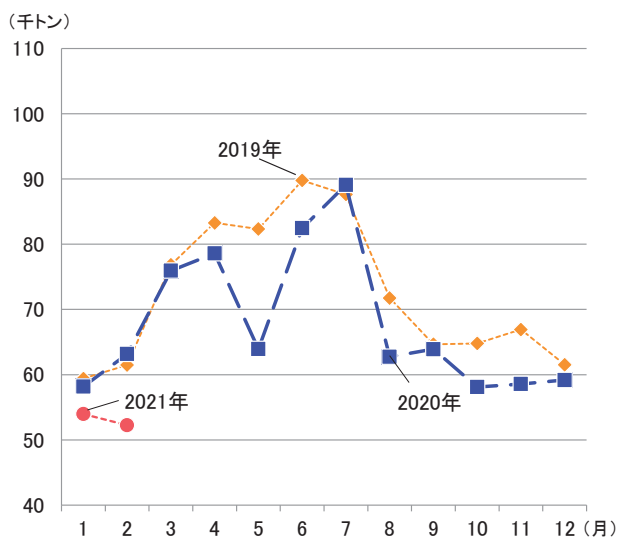
2月の移出量は前年同月から大幅に減少

2021年2月の異性化糖の移出量は、5万2255トン(前年同月比17.3%減、前月比3.2%減)であった(図9)。

同月の規格別の移出量は、次の通りであった(図10)。

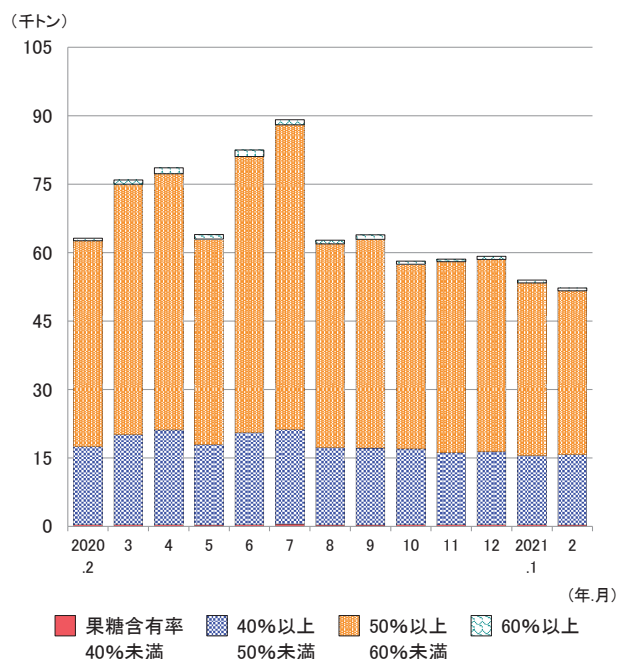
果糖含有率40%未満	338トン
(前年同月比6.9%減、前月比18.5%減)	
同40%以上50%未満	1万5484トン
(同9.8%減、同2.5%増)	
同50%以上60%未満	3万5807トン
(同20.5%減、同5.4%減)	
同60%以上	626トン
(同9.4%増、同3.9%増)	

図9 異性化糖の移出量の推移



資料：農畜産業振興機構調べ

図10 異性化糖の種類別移出量の推移



資料：農畜産業振興機構調べ

4. 価格動向

【市場価格】

砂糖、異性化糖ともに前月と同水準で推移

2月の糖種別・地域別の砂糖価格(日経相場)は、次の通りであった。

上白糖(大袋)

東京	1キログラム当たり187~188円
大阪	同187~188円
名古屋	同191円
関門	同191円

上白糖(小袋)

東京	1キログラム当たり199~202円
大阪	同202円

本グラニュー糖(大袋)

東京	1キログラム当たり192~193円
大阪	同192~193円
名古屋	同196円

ビート・グラニュー糖（大袋）

東京 1キログラム当たり187～188円
 大阪 同187～188円
 名古屋 同189円

2月の異性化糖の価格（日経相場、大口需要家向け価格、東京、タンクローリーもの、JAS規格品、水分25%）は、次の通りであった。

果糖分42%もの

1キログラム当たり131～132円

果糖分55%もの

同137～138円

【小売価格】

2月の上白糖小袋の地域間の価格差は最大で26.0円

KSP-POSデータ（全国535店舗）によると、スーパーにおける2月の上白糖小袋（1キログラム）の平均小売価格は、189.5円（前年同月差3.7円安、前月差1.5円安）であった。最も高かったのは中国・四国で、最も安かった関東などとの価格差は26.0円であった。

同月の地域別^(注)の平均小売価格は、次の通りであった（表5）。

(注) 地域の内訳は、次の通りである（以下同じ）。

関東など：茨城県、栃木県、群馬県、長野県、山梨県、静岡県

首都圏：東京都、千葉県、埼玉県、神奈川県

中部：新潟県、富山県、石川県、福井県、岐阜県、三重県、愛知県

関西：大阪府、兵庫県、京都府、滋賀県、和歌山県、奈良県

表5 上白糖の地域別平均小売価格（2月）

(単位：円/kg)

地域	平均価格	前年同月価格差	前月価格差
北海道	197.5	▲ 1.1	▲ 1.2
東北	198.0	▲ 0.3	2.3
関東など	178.1	▲ 3.8	0.2
首都圏	181.6	▲ 12.0	▲ 6.0
中部	181.9	▲ 0.5	▲ 0.4
関西	192.4	▲ 1.6	▲ 2.0
中国・四国	204.1	2.2	▲ 1.1
九州・沖縄	188.6	▲ 8.2	▲ 0.0
全平均	189.5	▲ 3.7	▲ 1.5

資料：農畜産業振興機構調べ（原典：KSP-POSデータ〈全国535店舗〉）

2月のグラニュー糖小袋の地域間の価格差は最大で71.0円

KSP-POSデータ（全国535店舗）によると、スーパーにおける2月のグラニュー糖小袋（1キログラム）の平均小売価格は、243.9円（前年同月差0.8円高、前月差1.0円高）であった。最も高かったのは東北で、最も安かった北海道との価格差は71.0円であった。

同月の地域別の平均小売価格は、次の通りであった（表6）。

表6 グラニュー糖の地域別平均小売価格（2月）

(単位：円/kg)

地域	平均価格	前年同月価格差	前月価格差
北海道	202.4	▲ 0.7	0.0
東北	273.4	▲ 1.5	▲ 0.5
関東など	252.9	7.8	▲ 0.0
首都圏	255.1	0.9	4.3
中部	251.4	0.6	▲ 0.1
関西	232.0	2.7	1.6
中国・四国	257.9	1.9	0.2
九州・沖縄	215.7	▲ 1.8	▲ 0.1
全平均	243.9	0.8	1.0

資料：農畜産業振興機構調べ（原典：KSP-POSデータ〈全国535店舗〉）

2月の三温糖小袋の地域間の価格差は最大で52.3円

KSP-POSデータ（全国535店舗）によると、スーパーにおける2月の三温糖小袋（1キログラム）の平均小売価格は、227.7円（前年同月差5.2円安、前月差5.0円安）であった。最も高かったのは中国・四国で、最も安かった九州・沖縄との価格差は52.3円であった。

同月の地域別の平均小売価格は、次の通りであった（表7）。

表7 三温糖の地域別平均小売価格（2月）

（単位：円/kg）

地域	平均価格	前年同月価格差	前月価格差
北海道	226.6	▲ 12.8	2.3
東北	250.6	3.9	3.2
関東など	211.5	▲ 24.8	0.9
首都圏	219.3	▲ 7.1	1.0
中部	227.8	▲ 1.5	▲ 1.8
関西	229.6	▲ 0.9	0.7
中国・四国	250.9	1.9	▲ 0.1
九州・沖縄	198.6	▲ 11.2	▲ 55.4
全平均	227.7	▲ 5.2	▲ 5.0

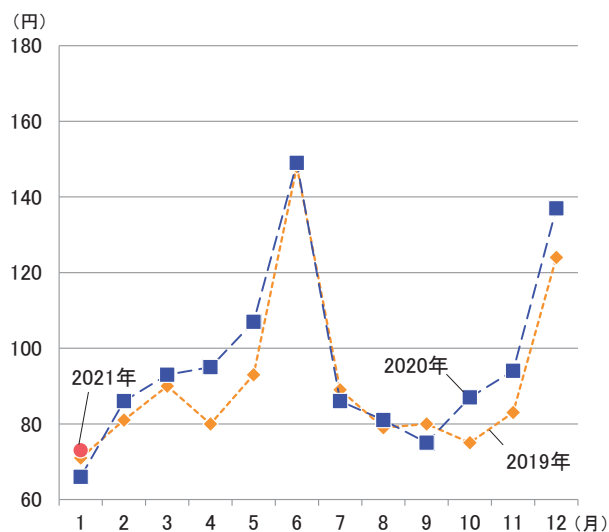
資料：農畜産業振興機構調べ（原典：KSP-POSデータ（全国535店舗））

【購入金額および購入量】

1月の砂糖の支出金額は前年同月と比べかなりの程度上昇

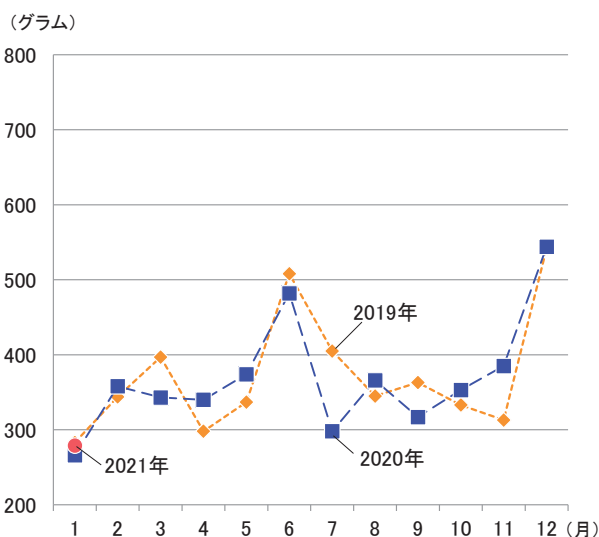
総務省「家計調査」によると、2021年1月における100世帯当たりの砂糖の購入頻度は31、1世帯（2人以上）当たりの支出金額は73円（前年同月比10.6%高、前月比46.7%安）であった（図11）。また、同月の1世帯当たりの砂糖の購入数量は、279グラム（同4.9%増、同48.7%減）であった（図12）。

図11 1世帯当たりの砂糖に係る支出額の推移



資料：総務省「家計調査」

図12 1世帯当たりの砂糖の購入数量の推移



資料：総務省「家計調査」